

映画 / テレビ / 音楽 / 出版 / マンガ / 演劇 / ライブ ……

エンタテインメント・ビジネス各分野における
法律実務の基礎を網羅

エンタテインメント法実務

第2版

2025年
2月21日
発売

A5判ソフトカバー 552ページ

定価 (本体**3,900**円+税)

ISBN 978-4-335-36028-2

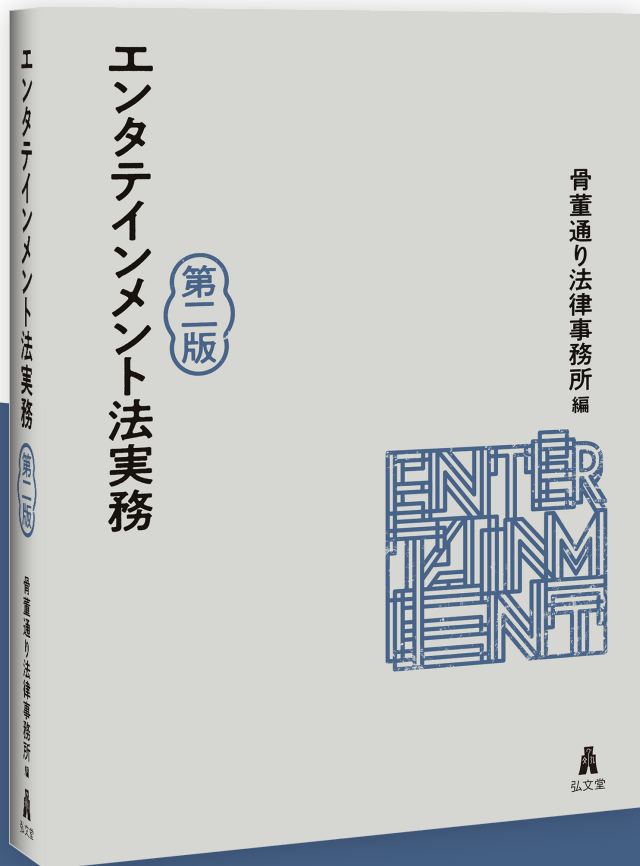
骨董通り法律事務所 [編]

法律家としての活動を通じて様々な芸術活動を支援する法律事務所として、“For the Arts”を旗印に2003年に設立。代表パートナー福井健策の「エンタテインメントと著作権—初歩から実践まで」シリーズ(著作権情報センター)をはじめとして、所属弁護士の著書多数。

映画・テレビ、音楽、出版・マンガ、演劇、ライブ……。華やかなイメージのエンタテインメント・ビジネスの世界。しかし、そこには紛争やトラブルはつきもの。本書は、「業界知識」やジャンル固有の事情を紹介しつつ一般的な法知識とつなげることを目指した、エンタテインメント法解説の決定版です。

各章では、ジャンルごとのビジネス構造と法実務の概要から始め、代表的な実務問題を取り上げつつ、法的課題とその論点や解決策を俯瞰。注や各章末の文献リストでは、さらなる学習のための情報も充実。

この第2版では、エンタメ各分野関係者は無関心ではられない生成AIの問題はもちろん、プロ責法改正(情プラ法)やフリーランス法、ハラスメント対応、そして働き方改革といった初版刊行以降の動きをしっかりとフォロー。



目次

- 第1章 総論
- 第2章 映画・テレビ
- 第3章 音楽
- 第4章 出版・マンガ
- 第5章 ライブイベント
- 第6章 インターネット
- 第7章 美術・写真
- 第8章 ファッション
- 第9章 ゲーム
- 第10章 スポーツ

【事項索引/判例索引】